

## 質問事項 「「大正ロマンエリア」を中心とした観光業について」

No.1

しもいい あいな

沼田小学校 6年 下飯 愛己(1番)

私は、経済部の仕事の中で観光について興味を持ちました。私は、きれいな建物が並ぶ「大正ロマンエリア」の教会を使う時があり、昔の気分を味わえてお気に入りの場所です。そこで、沼小の六年生にも「大正ロマンエリア」についての感想を聞いてみました。

「町並みがきれい」、「建物が再現されていてすごい」と思っている人がいる一方で、「行ったことがない」と言っている人も多かつたです。

そこで質問します。実際には「大正ロマンエリア」には、どれくらいの観光客が訪れていましたか。そして、どれくらい経済効果がありましたか。

また、すでにこのエリアで大正時代の衣装を着るイベントや、お茶会などの企画が行われていましたが、よりこのエリアの魅力を増やすために、大正ロマンの気分が味わえるような、そこだけの名物の食事を考えることを提案します。

## 質問事項 「マイナンバーカードについて」

No.2

あまの りおな

利根中学校 3年 天野 莉緒菜 (2番)

最近、マイナンバーカードという言葉をよく聞きます。CMなどでも保険証と連携させることを推奨しています。そのため、沼田市でも少しずつマイナンバーカードを作る人が増えてきていると思います。私も、マイナンバーカードを作りました。しかし、正直どのような利便性があるのかわかりません。私と同じように利便性がわからない人が多いため、取得率が伸びないのでないかと考えました。マイナンバーカードは、平成28年度から始まった制度のようですが、現在も取得率が上がらない状態です。「作る必要性がわからない」「作るのが大変」と感じている人がいる中で、どう取得率を上げていくのかが課題だと思います。

そのために、作成した時だけでなく、その後も特典を設けたり、カードを提示すると割り引きになる制度を設けたりするなどの工夫が必要なのではないかと考えました。

今後、取得率を上げるために、どのような取り組みを考えているのか教えてください。

## 質問事項 「定年退職後の職場について」

No.3

ひらい ののか

沼田西中学校 3年 平井 音乃楓 (3番)

私の友人のおじいさんは、定年退職した後も働きたいという意思がありましたが、就職先が見つからず、知り合いの会社でお手伝いとして働いていると言います。本当はお手伝いとしてではなく、社員として働きたいと言つていました。少子高齢化社会になるにつれて、労働力を確保するためにも、定年退職した後の再雇用制度が充実すると沼田市がさらに良くなっていくのではないかと思します。

そこで、定年退職を迎えた人たちの再雇用の実態についてお聞きします。沼田市には、私の友人のおじいさんのような、定年退職後に働きたくても働く環境が見つからず、働くことができない人がどのくらいいるのでしょうか。私は働きたいと思っている人が、今まで培ってきた経験や知識を活かして働くことができる場所があるといいなと友人の話を聞いて思いました。沼田市は定年退職後に働くサポートをしてくれる環境はありますか。またそれはどのようなものであるか教えてください。

# 質問事項 「沼田市を訪れる若者の増加を目指して」

No.4

沼田高校 2年 宮本 漣 (4番)

れん

私は、今の沼田市の活性化に重要なのは訪れる若者の増加だと思います。訪れる若者の数が増えれば、SNS等を通して沼田市が宣伝され、評判になる可能性が高まり、沼田市の活性化につながると思います。では、どうすればよいのでしょうか。

今、若者の間では、インスタグラムやツイッター等のSNSに投稿することが流行っています。そこで、沼田市や沼田市周辺に投稿したら評判になるようなお店や観光スポットを作ることが一番効果的だと思います。例えば、沼田市の自然を活かした絶景が見られる場所やSNS等でお店のことを宣伝すると、特定の商品が割引されるサービスなどが考えられます。このような方法で川場村の田園プラザを訪れる観光客を呼び込むのです。

これらのことでの沼田市を訪れる若者が増えれば、SNS等で宣伝され、評判になり、沼田市の活性化につながると思います。

このことについてご意見をお聞かせください。

# 質問事項 「沼田市のゴミステーションについて」

No.5

はるた りみ

利根実業高校 3年 治田 璃実 (5番)

私たちが生活していく中でゴミは必ず出るものだと思います。そして、溜まったゴミは各地域のゴミステーションで収集されていきます。しかし、ゴミが収集されるまでの間に私たち住民の迷惑となる被害が起っています。

私の地域のゴミステーションでは、ネットカバーでカラスや猫からの被害対策を行っていますが、中にはネットカバーにきちんとゴミ袋を入れていない人がいるため、それを狙つたカラスや猫がゴミを荒らしてしまいう問題が起きています。また、私が学校へ登校する際の道で、ネットカバーにゴミ袋を入れていても、それを破いてまでゴミを荒らしているカラスの様子を何度も見かけたことがあります。

沼田市はステンレス素材のボックス型になつているゴミステーションを設置している地域が少なく感じるため、そういったゴミステーションの設置を増やすべきではないかと考えます。

ご検討をよろしくお願ひします。

## 質問事項 「沼田市の環境問題への取組について」

No.6

ささき りつき

多那小学校 6年 佐々木 梨月 (6番)

僕は、7月に「尾瀬ネイチャーラーニング」の学習を通して、環境問題に関心を持つようになりました。尾瀬では、「木道の設置」やら「ゴミの持ち帰り運動」、「鹿などの動物から貴重な湿原や高山植物を守る取り組み」が行われていることを知り、僕たちにも何かで起きることはないかと考えるようになりました。

僕の学校では、地域の環境を守るために取り組みとして、小中学校で年4回のゴミ拾い清掃活動を行っています。ゴミを拾うだけではなく地域の自然に目を向ける良い機会になっています。また、保護者や地域の方に協力していただき、学校林の整備を行っています。

僕は自然豊かな多那の地においても、環境を守る取り組みの大切さを感じるようになりました。さらに、今年度校舎の屋根に太陽光発電パネルが設置され再生可能エネルギーの活用が始まりました。身近な場所で多く目にするようになった環境への取り組み。沼田市全体ではどのように考え、進められているのかを教えてください。

質問事項 「食品ロスを減らすための政策について」

No.8

かねこ だいち

尾瀬高校 3年 金子 大地 (8番)

沼田市の食品ロスについてお聞きしたいことがあります。私は、課題研究という授業で地域課題について研究しています。そのなかで、農家から出る規格外食品が食品ロスとして出てしまっている事を知りました。実際に、JA利根沼田トマトセンターに廃棄されているトマトの量を問い合わせたところ、2022年では1日400kgも廃棄されている事を知りました。おそらく、他の農家さんも少なからず食品ロスが出ていて、廃棄するのに多額な費用が掛かっているのではないかと考えています。

そのため、農家から出る食品ロスを減らし廃棄費用を少なくするために、どんな政策をしているのかお聞きしたいです。よろしくお願いします。

# 質問事項「自然や資源を生かした観光を発展させるために」 No.9

とまる こうた

沼田東中学校 3年 戸丸 晃汰 (9番)

私たちの提案は、自然や資源を生かして観光を発展させていくことです。それと同時に市民の住みやすさや今ある資源や自然を守つていきたいと考えています。観光地化を進めるために具体的に考えたことは3つあります。

1つ目は、果物狩りをしたり、アスレチックで遊んだりできる複合型の観光地を作ることです。宿泊ができたり、雨でも楽しめる体験交流ができたりする場所があると良いと思います。例えば廃校などの資源利用ができるないでしょうか。2つ目は、特産物や加工品の販売を促進することです。りんごや枝豆、天狗などを利用した商品開発ができると良いと思います。3つ目は、吹割の滝などの豊かな自然や河岸段丘の地形をもつと観光に生かすことです。スタンプラリーを新たに設置したり、河岸段丘を見渡せるカフェを誘致したりするのはいかがでしょうか。以上3つの内容について、テレビやSNSを使って宣伝していくけれど良いと思います。ご意見をお聞かせください。

# 質問事項 「沼田市の振興活動について」

No.10

とみざわ はるき

沼田中学校 3年 富澤 遼紀 (10番)

僕は、現在の沼田市の振興の活動について、いくつか感じことがあります。

1つ目は、住んでいてあるといいなと思う物が少ないということです。例えば、本屋や映画館などに行きたい場合に、前橋や高崎まで行かないと…と感じることがよくあります。そのようなことを減らして、僕たちのような若い人々が将来、沼田に住み続けたいと思えるような町作りをしていくことが必要だと思います。

2つ目は、沼田にはイベントが少ないということです。例えば、マラソンの大会を行うなど、もっと人が集まるイベントを増やして欲しいです。そして、そこで沼田の名物などの販売などをを行うことで、沼田の魅力が伝わると思います。そうすることで来た人が沼田つて良い場所だなと思ってくれるきっかけになります。

その他にも、沼田城などの歴史や自然など沼田でしかできない活動は沢山あると思います。

このことについて、市のお考えをお聞かせください。

# 質問事項 「ごみ問題解決の重要性について」

No. 11

おおだけ しようた

沼田南中学校 3年 大竹 翔太 (11番)

私は、ごみ問題、特に不必要になつたものについて、沼田市の基本政策、及び未来構想について質問します。

ごみ問題はSDGs「持続可能開発目標」の12番目「作る責任、使う責任」の中で重要視されていますが、日常生活においては、まだ使えるものを捨てたり、必要以上に購入したりしているのが現状です。現在、沼田南中学校では「愛のくるくるプロジェクト」と題し、古紙・空き缶などを各家庭から集めリサイクルをするという活動をしています。しかし、リサイクルは再資源化するときにかかるエネルギーやコストの面で問題があります。その解決にはRecycleだけでなく、5R(Reuse, Reduce, Reuse, Repair, Recycle)をバランスよく行うことが必要です。買い物時のマイバッグ・マイストローはもちろん、フリーマーケットの充実、修理業への補助等5Rの推奨のために、沼田市では、金銭的な援助、公的なシステムの構築、社会的な習慣等についてどのように考えているのか教えてください。

## 質問事項 「これから財源について」

No.12

かわばた ゆりな

沼田女子高校 1年 川端 優里菜 (12番)

現在、沼田市のみならず日本全国で急速な少子高齢化が進んでいます。その変化に対応していくために、これまで以上に高齢者及び子育ての支援に必要な費用が増えると考えられます。今、介護高齢課では介護保険・総合事業の給付、一部負担金、介護給付費準備基金など様々な支援を行っていますが、今後高齢者が増加することで費用が増加することが予想されます。さらに、人口減少、子供の人数の減少により、市の収入も少なくなると考えられ、増加する費用をどう賄っていくのか疑問に感じます。費用が増えるのは介護、高齢者に関する事だけではありません。他の所でも増加するでしょう。それならば、人を呼び込めば良いのではないかと思いますが、呼び込むためには魅力を作らなければなりません。子育て支援や観光などの魅力を作るにも多くのお金が必要となり、そのお金をどうするのかという壁があります。

これから増加する、新しく必要な費用をどう賄っていくのか教えていただきたいです。

# 質問事項 「街灯と歩道の整備について」

No.13

おおかわらはると

池田中学校 3年 大河原悠翔 (13番)

街灯と歩道の整備について質問したいと思  
います。私はクラブ活動に参加するため両親  
に自動車で送迎してもらっています。その時  
に、私も運転している両親も「危ないな」と  
同時に感じることがあります。それは街灯が  
なくて暗く、歩道のない道路に自転車や歩行  
者がいるときです。市街地は街灯もたくさん  
あり、明るく歩道も整備されており安全が確  
保されているように感じますが、私が住んで  
いる池田地区など市街地になると街灯の数も  
少なく、真っ暗で「ひとりで歩くのは怖いな」  
と思う場所がたくさんあります。そのような  
場所は、歩道の整備もされておらず、白線だ  
けや白線さえもない場所が多いように感じま  
す。まず自転車や歩行者の安全確保のために、  
地域の方々の意見を取り入れて街灯の設置を  
進めて、その後、歩道の整備を進めていって  
はどうかと考えていますが、この件について、  
市ではどのように考え、今後どのような整備  
を行っていく計画があるのかお聞かせくださ  
い。

# 質問事項 「未来を自信であふれた学校へ」

No.14

くろさわ まなと

沼田北小学校 6年 黒澤 愛翔 (14番)

沼田市内の全小学校6年生が中学校入学前に中学校と小学校の交流をより深める行事を提案します。今私は小学校6年生です。来年には中学校に入学します。このことを考えると、小学校を卒業するのはとてもさびしいと同時に、中学校での生活に対して大きな不安があります。これは多くの小学6年生が思っていることだと思います。この不安を取り除くために、次のことを提案します。

まず、中学生が小学校へ来てもらい、中学校での生活について説明をしてもらったり、自分たちが質問したりする機会をつくり、交流を深めます。その後、6年生が中学校に行つて授業や部活動を体験する時間を作ることです。例えば、希望する教科の授業を受けられたり、いくつかの部活動を体験したりすることです。

また、沼田市内の中学校なら、どの中学校でもこのような入学体験ができるようになると、その中学校の特色や、やりたい部活動の幅も広がると思います。この交流日を「沼田市小中交流日」として設定し、小学6年生が中学校へ大きな期待を持って入学できるこ

質問事項 「未来を自信であふれた学校へ」

No.14

くろさわ まなと

沼田北小学校 6年 黒澤 愛翔 (14番)

とを提案します。ご検討よろしくお願ひします。

## 質問事項 「簡易水道について」

No.15

ふかしろ けいた

川田小学校 6年 深代 啓太 (15番)

水は、僕たちの生活になくてはならないものですが、「水がなくなってしまったら」と考えるだけで、おそらく感じます。僕は6年生になつて、初めて自分の家が簡易水道を利⽤していることを知りました。そこで僕は、簡易水道についての資料を読み、簡易水道事業開始から62年が経つことや、厳しい環境下においても計画的かつ合理的、安定的な運営を継続するために、沼田市が尽力していることなどを知りました。今まで蛇口をひねつたら当たり前に水が出ていると感じていたので、初めて学ぶことばかりで驚きました。

僕は、簡易水道事業が継続できるように、地域の人たちみんなが簡易水道について知り、感謝の気持ちを持って協力していくことが大切だと思します。そのために、簡易水道事業についてわかりやすく情報を発信するといいのではないかと考えます。今現在、どのような情報発信をしているか、また、これからどのように情報を伝えているかうとしているのか教えてください。

# 質問事項 「私たちが安心して歩ける歩道を作ってほしい」 No.16

いしさか なお

沼田東小学校 6年 石坂 奈青 (16番)

私たちが安心して歩ける歩道を作ってほしいと思っています。なぜなら、小学生は毎日歩いて通学しているのに、歩道と車道がはつきりしていないところが、危ないといつも感じているからです。

特に危ないと思うところは、車道と歩道の境目が白線しかなくて、歩道がとても狭いところです。私の通学路は、ビバタウン前から石井ゴルフガーデンの前を通っていく長い道です。たまにランドセルが車にこすりそうな時もあります。もっと歩道と車道がはつきりと分かれていいたら危なくないのにな、と思います。

例えば、車道と歩道で段差を作ったり、ガードレールを設置したりしてもらえば安心です。歩道の幅が1mくらいあれば、すれ違うときも安全です。それが難しければ、歩道の色を変えてもらえるだけでも、少し安心できます。

この問題を解決すれば、運転者にとっても安心だと思います。ぜひ、この問題を解決して、安心安全な沼田市になつて欲しいです。

## 質問事項 「放課後学習スペースについて」

No.18

まるやま ねね

白沢小学校 6年 丸山 寧々 (18番)

放課後に、その日の授業の復習や宿題についてわからないところがあつたら、教えてもらったり、自主勉強ができたりするスペースがあるといいのではないかと思います。

なぜなら、授業でわからなかつたところを質問してわかるようにしたり宿題をみてもらつたりしてわかるようになれば、勉強が好きになると思うからです。さらに、勉強がわからなくて嫌いになる人を減らすことができると思うからです。誰もが塾に行けるわけではないので、家の人も助かると思います。

教えてくれる人材は、学校支援センターの人にお願いして、地域のボランティアの人には手伝ってもらえたらしいと思います。また、学校には空き教室があるので、その活用にもなると思います。

こうすることで、空き教室の活用や学力の向上にもつながると思います。

# 質問事項 「夏季・冬季休業の期間について」

No.19

たかはし ゆきか

薄根中学校 3年 高橋 志芽 (19番)

私は沼田市の夏季休業期間に関する意見があります。現在、沼田市の夏季休業期間は、東京都等の地域の小・中学校に比べて1週間程短くなっています。以前は、利根沼田地域は夏季休業期間が1週間短いわりに、2度冬季休業期間があったと聞きました。現在は、夏季休業期間が短いことに加え、冬季休業期間も1度だけになりました。他県の小・中学校では、休業期間が長く、登校日が少ないので、同様の学校教育を行うことができています。近頃この地域でも、気温が平均35℃をこえる日が多く、教室にはクーラーが設置されてしまふものの、登下校や部活動において熱中症の危険が伴います。そのため、夏季休業日を延長することが必要だと考えます。これらの理由により、私たちは夏季休業期間の延長を提案するとともに、沼田市としてのご意向をお聞かせください。

## 質問事項 「沼田市にある空き家の活用方法」

No.20

おざき りの

利根小学校 5年 尾崎 莉音 (20番)

最近、散歩をしていると、誰も住んでいない家をよく見かけます。家そのものはきれいなものもあれば、草木におおわれて住める状態ではないものもあります。なぜこんなに空き家があるのか不思議です。私は、まだ住めるのにどうしてだろうと思いました。空き家がこのまま増え続けると、沼田市の人口が減るということになるので、心配になります。

そこで、提案と質問です。古い空き家は壊して、別の施設を作れば良いと思います。例えば、私たち子どもが楽しめる場所やお年寄りの人たちがゆっくり休める場所を設置すると良いと思います。そして、まだ住めそうな家は、きれいにリフォームや掃除をして、また住める家にしたら良いと思います。また、その様子を広報ぬまたやポスターで伝えると良いと思います。現在、このような空き家を少しでも減らすために、沼田市ではどのような取り組みをしていますか。教えてください。

# 質問事項 「沼田城を観光地へ」

No.21

かたの こはる

薄根小学校 6年 片野 心遙 (21番)

今年の夏休みに観光地でにぎわう松本城に行きました。お城に入り細かな所まで観察したり、手や足でふれ、においをかぎ、急な階段を登ったりすることで構造を知り歴史を感じました。沼田城も大河ドラマ真田丸では話題になりましたが、長く観光地としてにぎわうためには何かが必要です。沼田城は残念ながらお城は残っていないため、大きさが想像できません。そこでQRコードから携帯で実際の大きさや中の様子を見れたり、何度も来てもらうためにQRコードの内容を定期的に変えたりします。そして、県立歴史博物館のようにならう市歴史資料館でも、例えば3Dで沼田城を360度見れたり、バーチャルメガネで沼田城の攻防を体感できたりすると、沼田城を楽しく学べます。また、歴史資料館の入場料を子供無料にすることで、沼田市の子供達がいつでも来やすくなり、沼田市の歴史を身近に感じ、沼田市を好きになる子供が増えたらいいです。沼田市で何かお考えがあつたら教えて下さい。

# 質問事項 「多目的スペースの愛称について」

No.22

みねかわ めい

升形小学校 6年 峯川 芽依 (22番)

テラス沼田1階の多目的スペースは、イベントや学習スペースとして利用されています。兄がよく利用していて、明るくエアコンも効いていて勉強に集中できると言っていました。ただ、気になることがあります。兄に「今日はどこに行くの?」と聞くと「1階のところ」と答えます。また、飲食店を営んでいる方から「週末に1階のところで出店するよ」と言われたこともあります。私はテラスの近くをよく通るので、「1階のところ」で通じます。しかし、市外の方などにとつては「1階のところ」や「多目的スペース」では場所のイメージがしにくいではないかと思うのです。調べてみると、沼田市でも愛称のある施設はたくさんありました。多目的スペースにも明るく親しみやすい愛称をつけることで、わかりやすくなり、利用者も愛着を持てるようになると思います。また、愛称を聞いて施設に关心を持ったり、どんなところか行ってみたいと思ったりする市外の人も増え、沼田市のPRにもつながると思います。「1階のところ」の魅力をより高めるために、愛称をつけることについて、どのように考えますか。

## 質問事項 「より良い「ぬまくる」の活用について」

No.23

たかはし あかね

利根商業高校 2年 高橋 茜空(23番)

私は「ぬまくる」のより良い活用方法について提案します。「ぬまくる」と従来の路線バスとの違いは自由な時間に500カ所もの豊富な行き先を選べる利便性にあります。しかし現状は、オンラインか電話で予約しなければ利用できません。この事前予約システムが高いハードルとなり、特に高齢者の利用増加につながらないのではないかと思います。

私は、その打開策として、「ぬまくる」運行中はタクシーのように手を挙げれば乗車できるシステムやオンラインで現在のバスの位置やルートを明示するシステムによって相乗りができるシステムの構築と強化を提案します。このような相乗りシステムがあれば、1回の運行でのバスの利用人数の増加や、またリピート効果による「ぬまくる」の利用者の増加が期待できます。より良い「ぬまくる」の活用について検討をお願いします。

## 質問事項 「お年寄りに優しい沼田市へ」

No.24

ほしの ひなた

池田小学校 6年 星野 陽向 (24番)

先日祖父は歯が痛くなり医者に行きました。とても大変な思いをしてかわいそうでした。祖父のような人を一人でも減らすためにどうしたらいいか2つ提案したいと思います。

一つ目は、病院までの直行バスをすぐに予約できるようにすることです。デマンドバスは「わかりづらい」という話を聞いたことがあります。お年寄りには予約を取る作業も大変だと思います。ボタン一つで病院と連絡が取れたり予約ができたりすると、お年寄りは助かると思います。

2つ目は家庭訪問でお年寄りの安否確認をして欲しいということです。お年寄りには市から届いたハガキを読むのは大変だと思います。電話を受けたり話をしたりするのも大変なお年寄りもいると思います。少しでも多くのお年寄りが体調を崩される前に安否確認をされれば、健康管理にもつながると思います。

以上が実行されれば、お年寄りに優しい市になると思いますが、提案についてご意見をお聞かせ下さい。